

# 船越中学校便り

中 研 司

<http://www.funakoshi-j.edu.city.hiroshima.jp/>

## 「変」

年末恒例、12月12日に日本漢字能力検定協会が、京都清水寺で発表する今年の世相を反映する漢字一字「今年の漢字」に、今年は「変」の字が選ばれました。

「変」というと「変化」「変な」「大変」と様々な意味で使われる漢字ですが、いったいどの意味で選ばれたのだろうか、ニュースや記事を読んでみると、オバマ次期アメリカ大統領の選挙キャンペーンで使われた「change」(変革)を取り上げたものが多かったように思います。その他にも、この秋口からの世界的な景気の後退と絡めて、市場経済に任せる経済政策からの変革、今の日本の非正規雇用の問題や食の安全性、格差社会、無差別殺人や児童をねらった犯罪の増加からの脱却とさまざまですが、「変化」「変革」と受け取ったものが多かったように思います。

そんな中、公務員改革、教育改革、学習指導要領の改訂、2学期制の導入、ひろしま型カリキュラムの導入、PISA型学力観の隆盛等、今まさに変革の真最中、「変化」の激流の只中にある学校教育について、どうしても考えてしまいます。

「改革」とか「変革」「変化」というと何かしら良いことが起こりそうなプラスのイメージが漂いますが、果たしてそうなのだろうかということ。もちろん「改革」といえば、古くなったり、合わなくなった制度や組織を根本から作り直し、事態を良い方向に変えていこうという取組みですから、良くならないといけないわけですが、良いことが起こる裏には何かしらマイナスの面も同時に起こっているように思います。肝心なことは、改革の中身をよく吟味し、影にあるマイナスの部分も考え合わせた対応を考えることではないかと思えます。

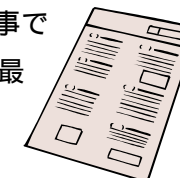
さらに、平成10年に改定された現行の指導要領が発表されたとき、「不易と流行」という言葉が盛んに使われていたように思います。「何を変え」、「何を变える必要があり」、「何を变えないか」、「変えてはならないのか」ということをしっかりと考えておくことも大切なように思えます。

いずれにせよ、流行や激しい変化に目を奪われることなく、物事(教育)の本質を良く見極め、メリット・デメリットまで視野に入れ、教育の本質を絶えず意識した学校運営が求められているのではないかと、思いを新たにす年の瀬となりました。

## 最近の行事から

### 1・2年生の後期中間試験

12月3・4日、1・2年生の後期中間試験がありました。後期の大きな行事である修学旅行や区民祭りへのお手伝い等秋は、様々な学校行事と共に、一年で最も学習に適した季節でもあります。さて結果は、どうだったのでしょうか。



### 骨密度の測定

12月10日(水)には、測定機械に右足(裸足)をのせ、かかとの骨に超音波をあてて、骨の中を通過するスピード(骨内伝播速度)を測定する方法で、骨密度の測定が行われました。

### 薬物乱用防止教室

12月12日(金)今年も薬物乱用防止教室を行いました。今年、済生会広島病院の医療部長 讃岐 英子 先生に喫煙防止の内容でお話いただきました。肺がんや肺気腫のような喫煙を減員とする病気だけでなく、タバコに含まれる有害物質が、人間の神経細胞に及ぼす悪影響等についても説明いただき、喫煙の怖さについて十分に理解が深まったものと思います。



### 町内一斉清掃

12月21日(日)には、今年2回目の町内一斉清掃が行われました。



## 今後のおもな予定

- 12月24日～1月6日…………… 冬季休業
- 1月8日9日…………… 3年生実力テスト
- 1月27日～29日…………… 2年生職場体験学習
- 1月29日30日…………… 3年生後期期末試験



良い年をお迎えください。